産業廃棄物の一連の処理の行程（2021（令和3）年2月～2022（令和4）年1月）【単位：t】

2022年3月22日現在

受け入れ

廃棄物種類名	受入量	割合	処理方法	
金属くず	2292.7	24.3%	選別	401.0
			破砕	1811.5
			切断	45.1
			圧縮	35.1
廃プラスチック類	3607.7	38.3%	溶融	17.3
			選別	61.3
			破砕	3397.5
			圧縮	131.6
木くず	155.3	1.6%	選別	66.7
			破砕	75.0
			圧縮	13.6
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	62.8	0.7%	破砕	44.4
			選別	8.4
			切断	3.5
			圧縮	6.5
紙くず	3.6	0.0%	破砕	2.1
			圧縮	0.2
			選別	1.3
がれき類	18.5	0.2%	選別	7.6
			破砕	10.6
			圧縮	0.3
金属くず、廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	3288.4	34.9%	選別	218.9
			破砕	2959.2
			圧縮	97.4
			切断	12.9

持出先	持出量	割合
売却X社：製鋼原料、非鉄原料として利用	1834.1	19.5%
売却Y社：製鋼原料、非鉄原料として利用	229.3	2.4%
売却その他：製鋼原料、非鉄原料として利用	229.3	2.4%
売却X社：製鋼原料、非鉄原料として利用	816.2	8.6%
売却Y社：製鋼原料、非鉄原料として利用	469.0	5.0%
売却その他：製鋼原料、非鉄原料として利用	288.6	3.1%
売却その他：ｶﾞﾗｽ原料として利用	7.2	0.1%
売却その他：再生プラスチックとして利用	144.3	1.5%
売却その他：ボイラ用燃料として利用	180.4	1.9%
処理委託A社：焼却処理	584.0	6.2%
処理委託B社：焼却処理	469.0	5.0%
処理委託その他：焼却処理	469.0	5.0%
処理委託C社：管理型埋立	94.5	1.0%
処理委託その他：破砕、固形燃料化、焼成、熱処理・焼成	85.5	0.9%
売却その他：ボイラ用燃料として利用	14.9	0.2%
処理委託その他：破砕処理（再生チップとして利用）	70.6	0.7%
処理委託その他：破砕処理（ボイラ用燃料として利用）	69.8	0.7%
処理委託C社：管理型埋立	29.9	0.3%
処理委託A社：焼却処理	17.7	0.2%
処理委託その他：破砕処理	15.2	0.2%
処理委託A社：焼却処理	0.7	0.01%
処理委託B社：焼却処理	0.7	0.006%
処理委託その他：焼却処理	0.7	0.01%
売却その他：ｶﾞﾗｽ原料として利用	1.5	0.02%
処理委託C社：管理型埋立	2.9	0.0%
処理委託その他：破砕処理	9.0	0.1%
売却その他：再生原料として利用	6.6	0.07%
売却X社：製鋼原料、非鉄原料として利用	2104.5	22.3%
売却Y社：製鋼原料、非鉄原料として利用	493.3	5.2%
売却その他：製鋼原料、非鉄原料として利用	328.3	3.5%
売却その他：ｶﾞﾗｽ原料として利用	9.9	0.1%
売却その他：再生プラスチックとして利用	65.8	0.7%
売却その他：ボイラ用燃料として利用	65.8	0.7%
処理委託C社：管理型埋立	193.8	2.1%
処理委託その他：破砕処理	27.0	0.3%

処理委託
処理委託：管理型埋立
セメント原料
セメント原料、処理委託：管理型埋立
処理委託：管理型埋立
セメント原料
セメント原料、処理委託：管理型埋立
セメント原料
セメント原料、処理委託：管理型埋立
処理委託：管理型埋立
セメント原料
セメント原料、処理委託：管理型埋立

受入量	9429.0	(100.0%)
処理前保管量	10	
処理後保管量	10	
持ち出し量	9429.0	(100.0%)